

九州地区フリースクールスタッフ研修会

NPO法人 フリースクール クレイン ハーバー
〒852-8156 長崎県長崎市赤迫1-4-16-6F

助成事業の概要

目的:フリースクールに通ってくる子どもたちは、とても個性豊かで心に傷を抱えている子も少なくありません。一人ひとりに寄り添った支援を行う為スタッフにも多様性が求められる上、精神的負担もかなり大きく、スタッフも非常にきつい思いを抱えているのが現状です。

今回の研修で、それぞれのフリースクール等で支援に携わっているスタッフが抱えている悩みを共有し解決策を検討することで、スタッフの能力向上と精神的負担の軽減を図りたいと考えています。

またスタッフ同士の交流の場を持つことで、今後も各団体が協力し合い子どもたちも含めた交流に繋げていくことも可能になると考えています。

スタッフ研修に参加することで仕事へのモチベーションを高め、子どもたちに求められる多様な支援に応えていけるようになりたいと願っています。

時期:平成27年10月24日(土)
10:00~17:00

内容:前半は今年の通常国会での上程を目指していた『多様な教育確保法』についての進捗状況の説明と、今後の予定やスタッフへの課題について奥地氏が講義。

参加者からも様々な意見や質問が出ました。

後半の1部は『神経発達症』についての講義を川島氏が行いました。

医師でも診断のしにくい『見えない障がい』について非常に分かりやすく説明。その後実際に関わっている子どもについてアセスメントも実施しました。

2部はスタッフが抱える悩みや質問したいことを出し合う『ワークショップ』を上村氏が実施しました。

紙にそれぞれの思いを書き出し、内容について皆で意見を出し合いました。

事業の成果

予定していた参加人数よりも少なくなってしまう残念ではありましたが、参加した皆さんは研修に参加して良かったと言ってくれました。

私共が加入している「フリースクール全国ネットワーク」主催で毎年必ずスタッフ研修を東京で実施していますが、九州からの参加となると交通費や宿泊費も掛かり、また「フリースクール全国ネットワーク」に加入していない団体は参加していません。

しかし日々活動していく中でスタッフの能力向上は必須だと感じていましたし、精神的な負担を共有できるのはやはり同じ活動をしている方々だと思いい今回の実施に至りました。

3つの部門に分けての研修となりましたが、どれも内容が濃くまだまだ話足りない感じでした。

1番の目的としていたスタッフの精神的負担の軽減という点では「ワークショップ」での話し合いが非常に良かったと思います。抱える悩みは人それぞれですが、似たような悩みを抱えていたり、

一緒に考えたりすることで、自分の支援の在り方を振り返ることもできました。今後何か壁にぶつかっても、今回出た意見を参考に解決の道を探ることができると思います。また参加していたスタッフに直接相談できる関係を築けたことがとても大きな収穫で、非常に心強い後ろ盾ができたことが不安の軽減にも繋がりました。

「神経発達症」の講義も、ある程度知っているつもりでしたが改めて聴くと気付かされることが多々ありました。医師でも診断のしにくい『見えない障がい』について川島氏は本当に分かりやすく説明して下さり、子どもたちと関っていく中で直ぐに役立つ知識を得ることで少し自信が持てました。

「多様な教育確保法」はフリースクールに関する者にとって希望そのものです。

法の成立に関して携わることはできませんが、いちスタッフとして何が出来るか？何をすべきなのか？

その点を奥地氏が具体的に提示して下さったことで、それぞれの団体が法の成立に向けて自分たちに出来ることを考えていました。

研修を受けて満足するのではなく、それをいかに今後活かせるかがポイントになると思いますが、今回の内容はどれも直ぐに現場で活かせるものだったことも研修として非常に良かったと感じています。

成果の広報・公表

フリースクール全国ネットワークのホームページ上やニュースレターに今回の研修の内容や感想を掲載していただく事が決まっています。

たくさんの方に知っていただけることで、今回の研修が他地域のモデル事業となり九州だけではなくそれぞれの地域でも活発に研修や交流が行われる事を期待しています。

今後の展開

九州地区でのスタッフ研修は今後も毎年実施していくべきだと考えています。

多様な支援を求められるスタッフには常に新しい情報や知識は必須です。

今回は長崎で実施しましたが、各地で順番に実施しお互いのフリースクールの見学なども組み込むと、それぞれの団体の特徴や課題も見えて良いのではないかと思います。

可能であればスタッフの交換（1週間程度）も実施することで、違った視点からスタッフ自身の課題を見つけ、子どもたちから学ぶことも多々あるのではないかと思います。またスタッフと子どもが顔見知りになることで、団体同士の交流が盛んになることも期待できます。

『フリースクール』と言っても一般的にはまだまだ認知度が低く、関わりのない人からは「それは何をするところですか？」と聞かれることもよくあります。

認知・周知活動も各団体が課題として抱えているので、交流の際には一般にも広報・公表するなどして、団体のアピールに繋げていければとも考えています。

今回の研修で九州地区の団結力はこれまで以上に強くなったと実感しています。それぞれの団体に課題があり、スタッフの仕事内容にも違いはありますが、不登校やひきこもりの子どもたちを支援したいという気持ちや、フリースクール・フリースペース等の存在をもっともっと多くの方々に知ってもらいたいという想いは共通しています。各団体で実施した事を報告し良いと思ったことは取り入れてみたり、九州地区で集結した方が良いと思う事業は皆で協力しあったりと、この研修で学んだことを全員が実践に活かし、フリースクールやフリースペース等の存在意義を社会に発信し、子どもたちが伸び伸びと学べる環境が整備されていくように今後も活動を続けていく所存です。